

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	文書表現論
科目基礎情報					
科目番号	0012		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『留学生と日本人学生のためのレポート・論文ハンドブック』二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 東京大学出版 他に適宜プリントを配布する。				
担当教員	要 弥由美				
目的・到達目標					
発表されている論文や要旨を読み、レポート・論文というジャンルの文体、形式を理解したうえで、実際に形式の整ったレポートを書いてみる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	ある程度、収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できない。		
論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	ある程度、報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。		
学科の到達目標項目との関係					
教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E2					
教育方法等					
概要	実際に修了論文を書くために役立ててほしいので、各自が書いた卒論やレポートを利用したり、その時点で課されている他科目のレポートを取り上げたりしていきたい。				
授業の進め方と授業内容・方法	論文読解や仮想のレポート課題の部分を書くことで、形式と内容の整合性を学ぶ。 最終的には、5年生時に書いた卒業論文のフォームと内容の整合性を確認し、論文としての完成度を上げる。 あるいは、次レベルの論文にレベルアップしたものを完成させる。				
注意点	1回目の授業に、本科5年生時に書いた卒業論文のコピーを提出すること。				
実務経験のある教員による授業科目					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス 論文速読①		
		2週	論文速読②		
		3週	論文速読③ 論文ブックレポート①口頭発表資料の作り方		
		4週	論文速読④ 論文ブックレポート②口頭発表		
		5週	論文速読⑤ 論文ブックレポート③口頭発表		
		6週	論文速読⑥ 論文ブックレポート④口頭発表		
		7週	論文速読⑦ 論文ブックレポート⑤口頭発表		
	8週	中間試験またはレポート提出			
	2ndQ	9週	卒論修正①		
		10週	卒論修正②		
		11週	卒論修正③		
		12週	卒論修正④		
		13週	卒論修正⑤		
		14週	卒論修正⑥		
		15週	卒論修正⑦		
16週		期末試験またはレポート提出			
評価割合					
	試験またはレポート	発表および課題	合計		
総合評価割合	50	50	100		
基礎的能力	50	50	100		